第５学年の実践

指導者　　新田　勝美

１　教科・領域　　国語

２　単元名・教材名　　意見を整理しながら，目的に向かって話し合おう
「『失敗』をめぐって」

３　単元の目標

○自分の生活をよりよくする目的に向かって，グループで順序や段取りを考え，思いやりを持って話し合う。

４　単元について

（１）児童の実態

児童はこれまで，４年下「話し合って決めよう」の教材で，意志決定のための話し合いを学習してきている。そこでは，話題からそれないようにすること，賛成か反対かの立場をはっきりさせること，例を挙げて話すことなどの話し合いのポイントに気をつけて話し合う活動を行った。また，５年生では，「人と『もの』とのつきあい方」で，環境についてテーマに沿って調べたことの発表会をし，話し合いを通して自分の考えを深めるという活動をした。これらの学習を通して，児童は，自分の考えをわかりやすく伝えること，自分の考えと比べながら話を聞くことなどを意識しながら，話し合いに臨もうとする姿も，少しずつ見られるようになってきている。

学級会や日常の生活の中での話し合いの中でも，互いの考えの相違点や共通点を理解しながらよりよい意見にまとめていこうとする姿勢が見られるようになった。しかし，児童一人ひとりの自己評価アンケートでは，「話し合うときに，人の意見をしっかり聞いて，自分の意見もしっかり言っている」という質問に対して，「そう思う」と回答したのは約３分の１で，「あまりそうではない」と回答した児童も約２割ほどいた。話し合いに自信をもてずに，自分の意見を言い出すことができない児童もいることから，児童にとって身近な話題で意見を出しやすく，また，必要感をもって話し合うことができる本単元の学習を通して，話し合うことへの自信を持たせ，力をつけることができるようにしていきたい。

（２）教材について

第５・６学年における「話すこと・聞くこと」領域の学習指導に関する目標は，「目的や意図に応じ，考えた事や伝えたい事などを的確に話すことや相手の意図をつかみながら聞くことができるようにするとともに，計画的に話し合おうとする態度を育てる。」ことである。本単元は，この学年目標に関わって，児童に「話し合いの手順を理解し，目的や順序を意識しながら，話題に沿って話し合う力」を育てることをねらいとして設定している。

人と話し合うことは，他や自らを理解するとともに，自己実現のための一つの手段である。児童に生涯にわたって積極的に話し合いに参加する人になってほしいと願うとき，小学校段階で，「話し合ってよかった。」という体験を積み重ねることが大切である。一人では考えつかなかったよい案が生まれる，だれもが納得できる案に落ち着くなどを実現できる話し合いを体験させたい。そのような話し合いをすることで，新しいものの見方・考え方に気付き，参加者同士の理解が深まることであろう。また，そのような話し合いを体験させるには，児童が真剣に話し合える話題の選定が重要になる。だれもがする「失敗」を話し合いのテーマにすることにより，失敗を見つめる勇気を持ち，それを共有することで繰り返しを回避する知恵を導き出させたい。話し合うことにより，誰もが失敗することを知り，それを回避する知恵を得たり，友だちについての理解も深めたりすることもできるという体験をさせたい。そのことが，失敗をおそれず，失敗をきちんと見つめることにつながると同時に，話し合うことの意義も感じさせることになると考える。また，「自分の生活をよりよくする」という，自分たちの生活に直接結びついた目的に向かって話し合うことで，より意欲的に話し合うことができると考えられる。

本教材は，大きく３つの学習内容で構成されている。第一次は，教材文を参考にして，話し合いを進める方法を理解し，話し合いの準備をする。第二次では，その方法を使ってグループごとに話し合い，反省をもとに，話題を変え，グループごとに計画を立てて，計画にそって話し合いをする。

第三次は，グループごとに話し合いをふりかえり，学習を通して学んだことを発表し，感想や意見を交流する。「失敗」は誰でもが経験していることであるが，人前で話すことに抵抗感を持つ児童もいるであろう。そこで，第一次では，この抵抗感を取り除くことから始めたい。「『失敗』をめぐって」という教材名を提示した後，教師が自分の失敗談を語ったり，教材の失敗例から同じような失敗を思い出したりして，このような話題を明るく話せる雰囲気を作ることを大切にしていきたい。そして，目的から離れた勝手なおしゃべりではなく，「目的を持った話し合い」を成功させるためにはどうすればよいかという学習であることを，児童にもしっかり押さえさせたうえで，教材文を参考にしながら，話し合いの手順や大切なことについておさえておくようにしたい。第二次で，グループごとに実際に話し合いをする段階では，初めに教科書の例にならい，「減らせる失敗はあるか。どうすれば減らせるか。」について話し合う。話し合いの振り返りでは，視点を明確にしたり，整然と話し合いが行われているＣＤを聞いたりして，２回目の話し合いに生かせるように支援したい。第３次では，学習を通して学んだことや考えたことを，今後の様々な場面での話し合いに生かしていこうという気持ちがもてるように締めくくっていきたい。

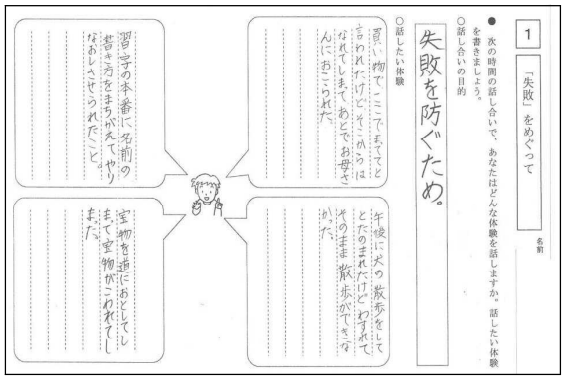
5　指導計画

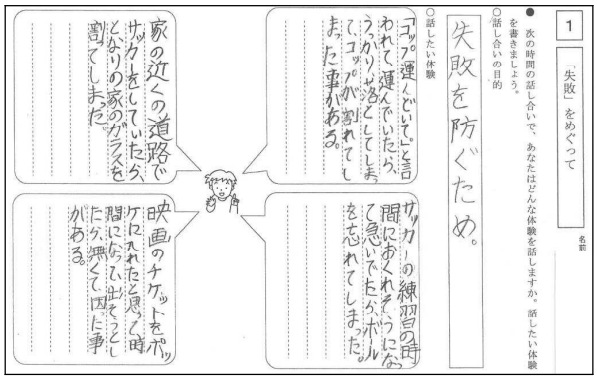
次・時	学　習　活　動
１・１	○話し合いの目的と方法を知り，話し合いに参加しようという意欲を持つ。 ・教材名を読み，話し合いのテーマをつかむ。 ・教材文を読んで，話し合いの手順をつかむ。 ①話し合いの目的・話題・順序を確かめよう。 ②体験を出し合おう。 ③体験をいくつかの型に分類・整理しよう。 ④失敗を減らす方法について，型ごとに意見を出そう。 ・グループごとに，話し合う目的や順序について確認し合い，話し合いの準備をする。 生活班ごとに話し合いをすることを知る。 教科書 P.51 の失敗体験の例を読み，誰もが失敗を経験していることを確認し，自分の失敗を話す抵抗感を取り除き，この後の話し合いのための雰囲気作りをする。 話し合いが充実したものになるよう，各自が話そうと思う失敗体験をワークシートに記入する。〈参考資料ワークシート①〉
２・２	○少人数での話し合いの手順を理解し，目的や順序を意識しながら話し合う。 ・話し合いの順序を意識しながら，話し合いをする。 第１次で確認した話し合いの順序を黒板に掲示し，共通理解を図るとともに，話し合いの途中でも確認できるようにする。 話し手のめあて「体験したことが聞く人に正確に伝わるように話す」，聞き手のめあて「自分にも似た体験がないかを考えながら聞く」を確認する。 ③の段階で型に分類しやすいように，カードに記録する。 失敗の型ごとの減らす方法の話し合いでは，考えた理由を話したり，自分の体験と結びつけて考えたり，自分の考えと比べながら聞いたりできるようにする。 ・話し合いを振り返る。 ３つの視点「目的を考えながら，話し合いができたか」「聞き手に正しく伝わるように話せたか」「自分の体験と比べながら聞くことができたか」について，振り返りをする。　〈参考資料ワークシート②〉
３	・グループごとに，話し合いの結果を発表する。 ・話し合いの手順を振り返り，うまくいった点・うまくいかなかった点について，その理由を考える。

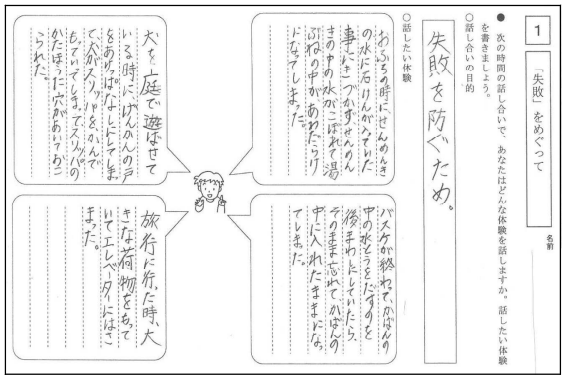
	・付録ＣＤを聞き，話し合いの仕方のポイントをつかむ。 〈参考資料ワークシート③前半〉 ・次の話し合いの話題を決め，話し合いの進め方についてのめあてを確かめる。。 次の話し合いは，「時間を守るためには」をテーマとすることとし，時間を守れなかった理由や，そのために困ったことなどを考えておく。
4	・前時に決めた話題について，めあてを意識しながら話し合う。 ・話し合いを振り返る。
３・５	○グループの話し合いと振り返りを発表し合い，感想や意見を交流する。 ・グループごとの話し合いの結果・振り返りを紹介する。 ・感想や意見をまとめ，話し合いの大切な点について確認する。 〈参考資料ワークシート③後半〉

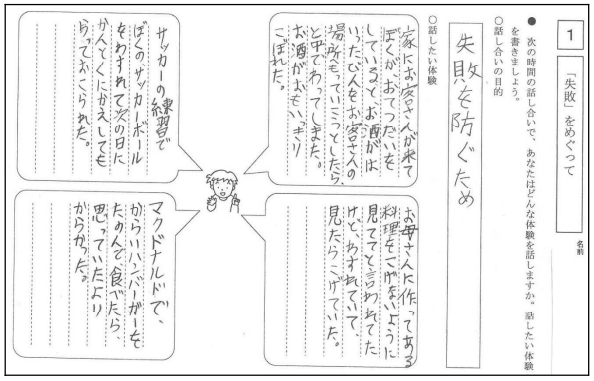
6　参考資料

【ワークシート①（第１次・１時)】

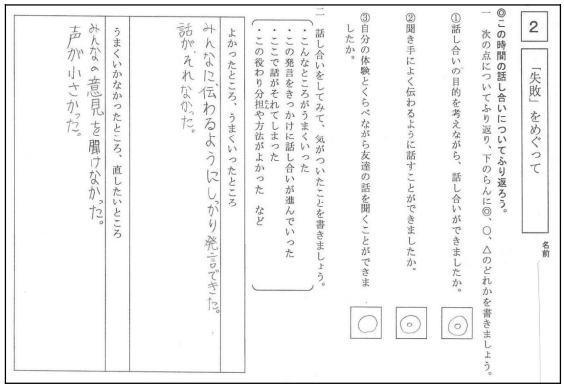

1 「失敗」をめぐって　名前
● 次の時間の話し合いで，あなたはどんな体験を話しますか。話したい体験を書きましょう。
○話し合いの目的
失敗を防ぐため。
○話したい体験
買い物でここで待ててと言われたけど，そこからはなれてしまって，あとでお母さんにおこられた。
午後に犬の散歩をしてとたのまれたけどわすれてそのまま散歩ができなかった。
習字の本番に名前の書き方をまちがえてやりなおしをさせられた。
室内を道にあとをしてしまって室内がこわれてしまった。

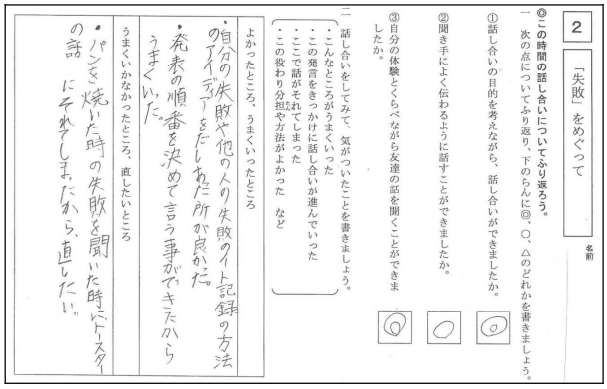

1 「失敗」をめぐって　名前
● 次の時間の話し合いで，あなたはどんな体験を話しますか。話したい体験を書きましょう。
○話し合いの目的
失敗を防ぐため。
○話したい体験
「コップ運んでいて」と言われて運んでいたら，うっかりおとしてしまってコップが割れてしまった事がある。
サッカーの練習の時間にあれそうになって急いでとったボールを忘れてしまった。
家の近くの道路でサッカーをしていたら，となりの家のガラスを割ってしまった。
映画のナゲットをポケットに入れたと思った時，間になっていたり出そうとしたら，潰くて困った事がある。


1 「失敗」をめぐって　名前
● 次の時間の話し合いで，あなたはどんな体験を話しますか。話したい体験を書きましょう。
○話し合いの目的
失敗を防ぐため。
○話したい体験
わふろの時にせんめんきの水に泡けんがいっぱいの事に気づかずせんめんまのすの水がこぼれて湯ぶねの中があわだらけになってしまった。
バスケが終わって，かばんの中の水をたべようと後手わたしていたら，その中に入れたままになってしまった。
犬を庭で遊ばせている時にげんかんの戸をあけっぱなしにしてまって，犬がスリッパをくわえてしまった。
旅行に行った時，大きな荷物をもっていて，エレベーターにはさまった。


1 「失敗」をめぐって　名前
● 次の時間の話し合いで，あなたはどんな体験を話しますか。話したい体験を書きましょう。
○話し合いの目的
失敗を防ぐため
○話したい体験
家にお客さんが来て，ぼくがおてつだいをしていたので，お酒がはいっていたので，お客さんの場所もていねいでしたら，と中でわってしまった。お酒がおそいきりこぼれた。
お母さん人に作ってある料理をつまみぐいをしていて見てて，とうわれてたけど，あわれていて見たら，こげていた。
サッカーの練習でぼくのサッカーボールをわすれて次の日にかくくにかえしてもらっておこられた。
マクドナルドで，からハンバーガーをたのんで食べたら，思っていたよりからかった。

【ワークシート②（第２次・２時)】


2 「失敗」をめぐって　名前
◎この時間の話し合いについてふり返ろう。
一　次の点についてふり返り，下のらんに◎，○，△のどれかを書きましょう。
①話し合いの目的を考えながら，話し合いができましたか。
②聞き手によく伝わるように話すことができましたか。
③自分の体験とくらべながら友達の話を聞くことができましたか。
二　話し合いをしてみて，気がついたことを書きましょう。
・こんなところがうまくいった
・この発言をきっかけに話し合いが進んでいった
・ここで話がそれてしまった
・この役わり分担や方法がよかった　など
よかったところ，うまくいったところ
みんなに伝わるようにしかり発言できた。
話がそれなかった。
うまくいかなかったところ，直したいところ
みんなの意見を聞けなかった。
声が小さかった。


2 「失敗」をめぐって　名前
◎この時間の話し合いについてふり返ろう。
一　次の点についてふり返り，下のらんに◎，○，△のどれかを書きましょう。
①話し合いの目的を考えながら，話し合いができましたか。
②聞き手によく伝わるように話すことができましたか。
③自分の体験とくらべながら友達の話を聞くことができましたか。
二　話し合いをしてみて，気がついたことを書きましょう。
・こんなところがうまくいった
・この発言をきっかけに話し合いが進んでいった
・ここで話がそれてしまった
・この役わり分担や方法がよかった　など
よかったところ，うまくいったところ
・自分の失敗や他の人の失敗のイト記録の方法のアイデアをだしあった所が良かった
・発表の順番を決めて言う事ができたからうまくいった。
うまくいかなかったところ，直したいところ
・パンを焼いた時の失敗を聞いた時にドキドキの話　にそわしたから，直したい。

【ワークシート③（第２次・２時）】

3　「失敗」をめぐって　名前

◎話し合いについて考えたことをまとめよう。

一　ほかのグループの発表を聞いて、いいなと思ったことを書きましょう。

・みんなで意見をいって進めていた。
・はっきり発表していた。
・みんなで確かめあっていた。
・みんなで意見を出しあって、スムーズに進んでいた。
・話もそれなしで、みんなでいろんな意見もでてよかった。

二　この学習で学んだことや、話し合いについて考えたことを書きましょう。

みんないろんな失敗をしていろいろで、同じ失敗をしないようにいろんな工夫をしていく事を学びました。話し合いでは、話はそれなかったけど、みんな早口で、小さな声だったので聞こえづらくなっているかわからなかったので、これからは、はっきりとした声で発表できるように直したいと思いました。

今後、いろいろな場面で生かしていけそうだね。

3　「失敗」をめぐって　名前

◎話し合いについて考えたことをまとめよう。

一　ほかのグループの発表を聞いて、いいなと思ったことを書きましょう。

・みんなで意見をいって進めていた。
・はっきり発表していた。
・みんなで確かめあっていた。
・みんなで意見を出しあって、スムーズに進んでいた。
・話もそれなしで、みんなでいろんな意見もでてよかった。

二　この学習で学んだことや、話し合いについて考えたことを書きましょう。

みんないろんな失敗をしていろいろで、同じ失敗をしないようにいろんな工夫をしていく事を学びました。話し合いでは、話はそれなかったけど、みんな早口で、小さな声だったので聞こえづらくなっているかわからなかったので、これからは、はっきりとした声で発表できるように直したいと思いました。

今後、いろいろな場面で生かしていけそうだね。

3　「失敗」をめぐって　名前

◎話し合いについて考えたことをまとめよう。

一　ほかのグループの発表を聞いて、いいなと思ったことを書きましょう。

・司会が話をすすめていた。
・自分の感想も入れていた。
・わかりやすく言っていた。
・みんなで訂正していた。
・意げんを出し合っていた。

二　この学習で学んだことや、話し合いについて考えたことを書きましょう。

失敗したら一人で考えるより、みんなで考えた方がいい。話し合いで、自分から先に言おうとすることが意外でよかった。

今後、いろいろな場面で生かしていけそうだね。

3　「失敗」をめぐって　名前

◎話し合いについて考えたことをまとめよう。

一　ほかのグループの発表を聞いて、いいなと思ったことを書きましょう。

・みんなで意げんを出した。
・みんなに分かりやすく言っていた。
・目的どうりに向かって話を進めていた。
・みんなスムーズに進んでいた。
・司会の人がきちんとまとめとしていた。

二　この学習で学んだことや、話し合いについて考えたことを書きましょう。

5班はみんないろいろな意げんや失敗を発言していた。一つのことにいろいろな直す方法がでてきた。私いがいの失敗が聞けたので私もありそうな失敗が直せることがわかった。

今後、いろいろな場面で生かしていけそうだね。

3　「失敗」をめぐって　名前

◎話し合いについて考えたことをまとめよう。

一　ほかのグループの発表を聞いて、いいなと思ったことを書きましょう。

・司会が話をすすめていた。
・自分の感想も入れていた。
・わかりやすく言っていた。
・みんなで訂正していた。
・意げんを出し合っていた。

二　この学習で学んだことや、話し合いについて考えたことを書きましょう。

・話し合の人の話し合いのしかたがよくわかった。
・一人一人がわかりやすくしっかり言ったら訂正するようにかんたんになる。
・話し合いでいろいろなかんそうや意げん出しした方がいい

今後、いろいろな場面で生かしていけそうだね。

7　成果と課題

○話し合いの進め方として「目的を考えながら話し合う」，話し手の立場として「聞き手に正しく伝わるように話す」，聞き手のめあて「自分にも似た体験がないかを考えながら聞く」の３つの項目について，様々な場面で何回も確認してきた。このポイントを意識しながら話し合いにのぞめる児童が多くなってきたことが，ワークシートへの記述からもうかがえた。

○失敗の体験という話しにくい内容も含んでいたと思われるが，最初に話しやすい雰囲気が作れたことにより，恥ずかしがらずに話をすることができていた。自分の失敗を話したり，友だちの失敗を聞くことで，友だちとの相互理解が深まり，関係がより良くなったように思われる。

○話し合い活動により，今までは考えていなかったことを改めて考えてみたり，よりよい解決の方法を発見したりすることが経験できた。そのことにより，話し合いの意義を感じ取ることができ，これからの話し合い活動にもつながっていくことを期待している。

○グループに分かれての話し合いだったため，それぞれのグループでの話し合いの様子をすべて把握しきれなかった。録音・録画などの機器を有効に活用することで話し合いの様子を掌握するなどの工夫をしていくことも，今後は考えていきたい。

○話す準備がしてある内容については話せるが，その場で友だちの意見を聞いて自分の考えを話すことは，まだまだ自信を持てずにいる児童もいる。これからの学習の中で，さらにこのような力も付けていきたい。